

在外同胞 母国修学 教育課程

2019年度 志願学生 募集

民団中央本部文教局

在外同胞の教育は韓国教育部の直属機関である国立国際教育院¹⁾が主管し、実際の教育計画から運営に至るまでを国立公州大学校²⁾の韓民族教育文化院・在外同胞教育センターがおこなっています。

母国修学教育課程には、韓国の大学(院)に進学を希望する在外同胞のために韓国語の習得をはじめ、大学入試のための指導を含めた教育をおこなう「大学修学準備課程」と、短期間で韓国語学習ができる「韓国理解課程」と、基本的な韓国語学習と韓国文化の体験などを組み込んだ「放學(夏休み/冬休み)特別課程」があります。

研修中は、研修センターで朝から夕刻まで韓国語習得のための授業が開かれ、学生には寄宿舎での生活が義務付けられます。

またこの教育カリキュラムには、日本だけではなく世界各国から韓国語を習いたいという同世代の在外同胞が集まる点も特徴だといえます。韓国での生活から得ることができるまだ知らない祖国・韓国、また文化体験や風習を学び母国を知ることが、これから在日韓国人として生きていく皆さんにとってかけがえのない経験であり、今後の生き方にも影響を与えることになるでしょう。

この教育システムは、在日1世の先輩方が、在日韓国人としてこれからも生まれてくる在日同胞の次世代のために母国韓国に要請し、1962年からスタートしました。在日が発信し在日を対象につくられた母国修学教育課程は、今では海外同胞を対象に実施されています。皆さんの将来のために、この「母国修学教育課程」を進路の選択肢のひとつに是非加え、検討してみてくださいはいかがでしょうか。

韓国人としての引き出しをひとつでも多く身につけることは、まさに若い時期にこそやっておきたいことではないでしょうか？

【教育目的】

母国の理解に必要な実用的韓国語駆使能力および、韓国の歴史と文化を学び韓民族としての幅広い素養を身に付け、これからの国際社会に適応し、活躍できる人材の育成をおこなう。

【出願資格】

〔大学(院)修学準備課程〕 外国において12年以上の正規の学校教育(またはこれと同等の学力を認定)を卒業(または卒業見込み)し、公館長の推薦を受けた在外同胞

〔韓国理解課程〕 居住国において小学校以上の卒業(またはこれに準ずる学力を有する人)し、公館長の推薦を受けた在外同胞

〔放學(夏休み/冬休み)特別課程〕 満12歳以上であって、公館長の推薦を受けた在外同胞

【出願期間および教育期間・登録・入学式】

	区別	教育日程	教育日程	願書受付期間	登録日	入学式
大学修学準備課程	I	5ヶ月	19. 4. 2 ~ 19. 8. 23	19. 1. 28 ~ 19. 2. 28	4.1(月)	4.2.()
	II	5ヶ月	19. 9. 3 ~ 19. 1. 30	19. 6. 21 ~ 19. 7. 22	9.2(月)	9.3.(火)
母国理解課程	春	2ヶ月	19. 4. 2 ~ 19. 5. 30	19. 1. 22 ~ 19. 2. 28	4.1(月)	4.2.(火)
	夏	2ヶ月	19. 7. 2 ~ 19. 8. 23	19. 4. 22 ~ 19. 5. 24	7.1(月)	7.2.(火)
	秋	2ヶ月	19. 9. 3 ~ 19. 10. 30	19. 6. 21 ~ 19. 7. 22	9.2(月)	9.3.(火)
	冬	2ヶ月	19. 12. 3 ~ 20. 1. 30	19. 9. 23 ~ 19. 10. 25	12.2(月)	12.3.(火)
放學特別課程 ³⁾ (夏休み/冬休み)	夏	3週	19. 8. 7 ~ 19. 8. 23	19. 4. 22 ~ 19. 5. 24	8.6(火)	8.7.(水)
	冬	3週	20. 1. 7 ~ 19. 1. 22	19. 9. 23 ~ 19. 10. 25	20.1.6(月)	20.1.7(火)

※長期の教育を希望する場合、2つ以上の課程を選択できる。

- 1) 国立国際教育院は、教育部に所属する国家機関として在外同胞教育と国際教養の交流・協力のために設立され、在外同胞国内教育課程の企画・選抜・指導・評価などを担当する機関です。
- 2) 中等教員養成を主とする大学であり、在外同胞教育の専門化を目指して韓民族教育文化院を設立・運営しており、在外同胞国内教育課程の実際運営(授業及び学生指導)を行っています。
- 3) 放學特別課程とは、学校の夏休みと冬休みを活用して3週間という短期間で行われるプログラムです。

【教育カリキュラム】 ※教科編成：共通講義＋選択講義

母国を学び、体験する「韓国語・韓国文化・歴史授業」

教育課程		教育内容	
共通講義 (午前3時限)		・韓国語、韓国文化、韓国史、世界市民の4つの講座を開設・運営 ※放學特別課程は、3つの講座(①～③)を開設・運営 ①韓国語：基礎的なコミュニケーション能力及び日常会話中心の韓国語 ②韓国史：視聴覚資料と現場見学による韓国の社会・文化全般に対する理解 ③世界市民：人権、多様性、環境、平和など国際的な価値教育 ④韓国文化：体験中心の実習による韓国の社会・文化全般に対する理解	
選択講義	大学修学準備課程 (午後3時限)	韓国語強化学習クラス	・大学(院)での修学能力向上のための韓国語講義 ・大学(院)での修学に備えた講座(会話・作文など)
	母国理解課程 (午後2時限)	韓国語強化学習クラス	・韓国語能力向上のための韓国語講義 ・物語韓国語、作文と討論、韓国文法講座など
		歴史文化強化学習クラス	・韓国社会・文化理解教育 ・体験中心の文化学習(書道、テッキョンなど)
放學特別課程 (午後3時限)	文化体験	・様々な分野の文化体験 ・伝統音楽(民謡、サムルノリなど)、伝統工芸(陶磁器、韓紙工芸) K-POP、韓国料理など ・交流活動として韓国大学生たちと一緒に体験	

【特別/交流プログラム】

訪ねて、見て、聞いて、感じる「現場文化体験」

毎月の現場学習に韓国の多様な姿と歴史・文化体験、政府機関、史跡、産業など見学
 韓国文化・歴史の講義と同時進行で学習効果の向上

区別	内容	
大学修学準備課程 (長期/5ヶ月) / 母国理解課程 (短期/2ヶ月)	特別プログラム	・教科連携活動：韓国語コンテスト、現場体験学習 ・放課後クラブ：学習、文化体験、体育、ボランティア、大学生連携 ・フェスティバル：祝宴ハンマダン、食文化フェスティバル、大学祭など
	交流プログラム	・地域社会との交流：ホームステイ、地域文化フェスティバル ・韓国人学生たちとの交流：教育大学生による放課後学習サポート、大学祭への参加、地球村言葉文化交流への参加 ・国内機関・団体と協力プログラムなど
放學特別課程 (短期/3週)	特別プログラム	・現場体験学習、祝宴ハンマダンなど ・放課後TA(ティーチングアシスタント)大学生による学習指導
	交流プログラム	同上(大学修学準備課程及び放學特別課程と同じ)

【進路プログラム】

別	内容	
大学修学準備課程 (長期/5ヶ月)	学(院)進学プログラム	・韓国国内大学(院)への進学指導、専攻的な基礎教科教育、大学(院)進学先輩のメンタリングなど
	就職支援プログラム	・企業訪問、職業教育連携の支援など
	韓国語強化キャンプ	・大学教材読みや実用作文教育など(時期：6月・11月/期間：2週間)
	進学・就職キャンプ	・履歴書・自己紹介書作成や面接教育、進路特講など(時期：6月・11月/期間：2週間)

※大学準備課程の学生を対象としており、韓国理解課程の学生でも希望する場合は、参加できる。

【教育費】

(単位：ウォン)

教育課程	授業料	寄宿舎費	食費	納付金総額
大学修学準備課程	1,150,000 (230,000×5ヶ月)	750,000 (150,000×5ヶ月)	1,485,000 (297,000×5ヶ月)	3,385,000
母国理解課程 (短期/春・夏・秋・冬)	460,000 (230,000×2ヶ月)	300,000 (150,000×2ヶ月)	594,000 (297,000×2ヶ月)	1,354,000
放學特別課程 (夏休み/冬休み)	300,000	126,000	208,000	634,000

※1) 入学が許可された研修生は全員寮への入舎と団体給食を原則とする。

※2) 寮への入舎日数が超過した場合、寮費と食費に追加料金が発生する。

※3) 入学辞退や自主退学などの事情により修了できなかった場合、教育経費返却に関する内部指針により返金する。

【願書交付および受付】

- . 交付…全国の民団地本本部(支部)または民団ホームページからのダウンロード
- . 受付…全国の民団地本本部(支部)にて受付します。

【提出書類】

- ①志願書(所定様式) →民団ホームページにてダウンロード(www.mindan.org)
- ②修学計画書(所定様式) →民団ホームページにてダウンロード
- ③最終学校卒業(予定)証明書
- ④最終学校成績証明書
- ⑤外国人住民票(全記載)もしくは在外国民登録完了証明書
(※日本籍同胞の場合、在外同胞であることを証明できる書類)
- ⑥パスポート写本

【入学手続き】

- ①日本国内の流れ: 全国民団支部→全国民団地方本部→民団中央本部→在外公館長推薦(大使館)
- ②韓国内の流れ: (在外公館(大使館)) →本国. 国立国際教育院→国立公州大学
- ③入学審査: (公州大学) 入学許可の可否および入学許可証(または招請状) 発行→該当在外公館へ送付
- ④入学予定者には、公州大学が入学時、登録、寄宿舍についてなど入学に際する実質的な支援をおこなう

【入学および登録】

- ①入学: 入学予定者は入学日程を公州大学の下記の入学担当者に知らせ、入学時は仁川空港に到着後、出迎え職員
の案内に従い移動。万が一、出迎え職員に会うことができない場合、直ちに公州大学校へ連絡
※ 入国日は、登録期間に限定し、事前入国する場合は必ず公州大学の入学担当者に知らせること
- ②登録: 大学到着後、登録所で登録を済ませ、その後、寄宿舍に入舎

国立公州大学入学担当者の連絡先(公州大学 韓民族教育文化院) 担当者: 이희령 (イ・ヒリョン)
電話: +82) 41-850-6031 FAX: +82) 41-850-6039 Mail: hansaram@kongju.ac.kr

【修了】

修了した学生には、教育部国立国際教育院長と国立公州大学校総長との共同名義の修了証が発行、交付されます。

特典

1. 国立国際教育院 奨学金

- 【国家奨学金】 ▶対象: 在外同胞国内教育課程の申込者であり、公館の推薦を受けた在外同胞
▶選抜基準: 公館から推薦された人を対象に国立国際教育院が最終選抜
▶支援内容: 申込み課程(1課程)の教育経費と往復空港券の70%を支援

※ 独立運動家の子孫の場合、申込み課程(1課程)の教育経費と往復空港券の100%を支援

※ 国家奨学金については、修了できなかった場合または学校規則に違反するなどにより懲戒処分を受けた場合、奨学金の選定が取り消しとなることもあり、奨学金は全額返還しなければならない

2. 公州大学校 奨学金

-	区分	選抜基準	支援内容	採用人数
1	国立公州大学校奨学金	在外教育機関長または韓人団体長の推薦を受けた在外同胞学生の中から、家庭が経済的に困難な状況にある学生を公州大学が選抜	授業料、宿泊費一部支援	約20人
2	広報活動奨学金	教育課程広報大使に選ばれ、ブログ、SNSなどでオンライン広報を行う学生に奨学金支給	活動実績に応じて支給	約10人
3	国立公州大学進学奨学金	教育課程の修了後に国立公州大学に進学する場合、奨学金支給	新規入学1学期の登録金(入学金を含む)の50%を支給	該当者
4	その他の奨学金	TOPIKの受験料および成績向上等の級により奨学金を支給(2等級以上の向上者)	1人当たり所定の奨学金支給	該当者

3. 協力大学の単位認定など

在外同胞国内教育課程を修了し、協力大学に進学する場合、協力大学に応じて単位認定、韓国語課程履修認定、在外同胞奨学金などの特典が与えられます。

【単位認定】 在外同胞国内教育課程における韓国語、韓国史、韓国文化などの科目履修を進学大学の単位として認定

【韓国語課程の履修認定】 在外同胞国内教育課程における韓国語科目の履修を外国語選考の際に入学生の韓国語課程の履修として認定

【在外同胞奨学金】 在外同胞国内教育課程を修了した在外同胞入学生に奨学金を支援

※ 協力大学リストや協力分野に対しては、ホームページにて確認

生活案内

■ 寄宿舍の提供

- 入学が許可された母国修学生は、国立公州大学の寄宿舍への入舎を原則とする。
- 冷暖房設備を備え、食堂、図書室、セミナー室、洗濯室、インターネットラウンジなどの施設が備わっている。
- 寮は2人1室の使用を原則とし、男女層間を区分して管理している。
- 夏休み期間中の（7～8月）寄宿舍宿泊可能。宿泊費およびその他詳しい事項は別途案内。

全国の民団地方本部

- | | | |
|---|---|---|
| <input type="checkbox"/> 東京 TEL-03(3454)4711 | <input type="checkbox"/> 神奈川 TEL-045(316)0815 | <input type="checkbox"/> 千葉 TEL-043(242)4621 |
| <input type="checkbox"/> 山梨 TEL-055(228)8814 | <input type="checkbox"/> 栃木 TEL-028(622)7777 | <input type="checkbox"/> 茨城 TEL-029(221)3337 |
| <input type="checkbox"/> 埼玉 TEL-048(831)3959 | <input type="checkbox"/> 西東京 TEL-042(527)0007 | <input type="checkbox"/> 群馬 TEL-027(251)2328 |
| <input type="checkbox"/> 静岡 TEL-054(272)6660 | <input type="checkbox"/> 長野 TEL-0263(33)6858 | <input type="checkbox"/> 新潟 TEL-025(244)2942 |
| <input type="checkbox"/> 宮城 TEL-022(263)6961 | <input type="checkbox"/> 北海道 TEL-011(511)3381 | <input type="checkbox"/> 青森 TEL-017(776)3317 |
| <input type="checkbox"/> 山形 TEL-023(641)8233 | <input type="checkbox"/> 岩手 TEL-019(636)3811 | <input type="checkbox"/> 秋田 TEL-018(834)4430 |
| <input type="checkbox"/> 福島 TEL-024(922)9072 | | |
| <input type="checkbox"/> 愛知 TEL-052(452)6431 | <input type="checkbox"/> 岐阜 TEL-058(274)5544 | <input type="checkbox"/> 三重 TEL-059(225)5577 |
| <input type="checkbox"/> 石川 TEL-076(231)2914 | <input type="checkbox"/> 福井 TEL-0776(26)1550 | <input type="checkbox"/> 富山 TEL-076(433)2626 |
| <input type="checkbox"/> 大阪 TEL-06(6371)7331 | <input type="checkbox"/> 兵庫 TEL-078(642)6303 | <input type="checkbox"/> 京都 TEL-075(781)8281 |
| <input type="checkbox"/> 奈良 TEL-0742(34)5067 | <input type="checkbox"/> 滋賀 TEL-077(524)3640 | <input type="checkbox"/> 和歌山 TEL-073(424)7264 |
| <input type="checkbox"/> 広島 TEL-082(264)2345 | <input type="checkbox"/> 岡山 TEL-086(225)0826 | <input type="checkbox"/> 鳥取 TEL-0857(22)6780 |
| <input type="checkbox"/> 島根 TEL-0852(26)6830 | <input type="checkbox"/> 山口 TEL-083(268)1400 | |
| <input type="checkbox"/> 福岡 TEL-092(431)7231 | <input type="checkbox"/> 長崎 TEL-095(821)1638 | <input type="checkbox"/> 佐賀 TEL-0952(22)0055 |
| <input type="checkbox"/> 大分 TEL-097(553)1616 | <input type="checkbox"/> 宮崎 TEL-0985(29)9834 | <input type="checkbox"/> 熊本 TEL-096(359)0022 |
| <input type="checkbox"/> 鹿児島 TEL-099(222)2706 | <input type="checkbox"/> 沖縄 TEL-098(863)3166 | |
| <input type="checkbox"/> 香川 TEL-087(831)8955 | <input type="checkbox"/> 愛媛 TEL-089(922)4813 | <input type="checkbox"/> 高知 TEL-088(882)8777 |
| <input type="checkbox"/> 徳島 TEL-0885(32)2718 | | |

※ お問い合わせ…最寄りの民団地方本部・支部まで。